

「商業労働災害防止対策説明会」を開催しました

今治労働基準監督署では、平成29年8月22日に、商業労働災害防止対策説明会を開催しました。

この説明会は、商業の労働災害が近年増減を繰返し減少傾向が見られず、転倒災害も多発している状況になっていることから、労働災害防止対策の推進のため、また、労働時間管理も併せて開催したもので、24事業場、25名が参加しました。

今治労働基準監督署管内の平成28年の休業4日以上の労働災害は、全産業で183件発生し、対前年比で23件(-11.2%)の減少となっています。しかしながら、商業においては27件発生し、対前年比11件(68.8%)増加している状況です。

商業の労働災害過去10年間の内訳を見ると、事故の型別では「転倒(31%)」、起因物別では「仮設物・建築物・構築物等(37%)」による災害の発生割合が高くなっています。

説明会では、各事業場での安全衛生管理体制の整備、転倒災害防止等安全衛生管理活動の活性化、労働時間管理等をお願いするとともに、中央労働災害防止協会中国四国安全衛生技術センター四国支所長の岡崎隆夫安全管理士より「労働災害防止対策について」と題して、労働災害発生状況、災害事例、災害発生のメカニズム及び労働災害防止対策等について具体的にわかりやすい講演を行って頂きました。

今治労働基準監督署では、第12次労働災害防止計画に基づき、当該計画の最終年である平成29年の休業4日以上の労働災害を170件以下(平成24年比15%以上減)、死亡災害ゼロを目標とし、目標達成のために取組を行っております。労働災害の減少に向けてなお一層の安全衛生管理活動の推進をお願いします。

《説明会の様子(岡崎隆夫安全管理士による講演の様様)》



《説明会配布資料(一部)》

- ・労働災害発生状況
- ・小売業における労働災害発生状況